

令和6年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	43.8				50					60
実績	43.8				53.8					

指 標 名	みどり率									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	20.5									20.9
実績					20.8					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
北十間川西側区間(隅田川から東武橋付近)の一体的整備(親水テラス、区道、隅田公園等)、あずま百樹園再整備などの公園新設再整備、江東内部河川の整備等により、うるおいとやすらぎが実感できる水と緑の空間整備を進めた。	R3	1,037,207
	R4	1,426,841
	R5	1,814,067

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	公園等新設再整備事業、北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業、親水公園再整備事業などにより計画的な公園等の再整備が進み、公園や水辺を日常的に利用する区民の割合も増えている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
○	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
施設の老朽化や利用者ニーズの変化・多様化に対応した、水と緑をいかした魅力的な空間を創出する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
令和6年度に改定された墨田区公園マスタープランに基づき、計画的な公園等の再整備を行うとともに、指定管理をはじめとする民間活力導入など、効果的かつ効率的な公園管理のあり方を検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	公園マスタープラン策定経費	7,065	17,024	24,089	0	現状維持
					0	令和5年度
2	公園等新設・再整備事業費	365,365	18,760	384,125	48	現状維持
					50.8	令和5年度
3	隅田公園再整備事業費	159,800	12,768	172,568	-	現状維持
					-	令和5年度
4	親水公園再整備事業費	64,500	7,252	71,752	48	現状維持
					50.8	令和5年度
5	江東内部河川整備事業費	173,286	8,512	181,798	-	現状維持
					-	令和5年度
6	公園及び児童遊園維持管理費	639,074	11,173	650,247	104	改善・見直しのうえ継続
					90	令和5年度
7	親水公園維持管理費	191,023	11,173	202,196	48	改善・見直しのうえ継続
					50.8	令和5年度
8	公園施設安全管理事業費	14,785	11,173	25,958	48	現状維持
					50.8	令和5年度
9	街路樹及び緑地帯維持管理費	110,188	9,360	119,548	28.9	現状維持
					28.4	令和5年度
10	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)	34,205	2,554	36,759	9,520	現状維持
					9,338	令和5年度
11	土木施設監察指導事務費	42	6,810	6,852	65	改善・見直しのうえ継続
					143	令和5年度
12	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費	4,390	8,512	12,902	21,870	現状維持
					21,870	令和5年度
13	河川施設維持事業費	40,346	16,059	56,405	15.0	現状維持
					9.4	令和5年度
14	区民広場維持管理費	9,998	11,173	21,171	48	現状維持
					50.8	令和5年度

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公園マスタープラン策定経費					1
目 的	平成7年に30年計画として策定し、平成22年に中間改定した墨田区公園マスタープランについて、社会情勢の変化やニーズの多様化が急速に進んでいることから、これらに対応するため、令和6年度に前倒しで改定する。					主管課・係（担当）
						都市整備課都市整備・河川担当
						03-5608-6281
対 象 者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根 拠 法 令	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則					
関 連 計 画	墨田区都市計画マスタープラン、第二次墨田区緑の基本計画					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤3人、一般財団法人日本緑化センター	
事 業 内 容	令和6年度に墨田区公園マスタープランを前倒しで改定するため、令和4年度及び令和5年度に改定支援業務委託、利用者アンケート調査、改定検討委員会等を行う。					
	[令和4年度]	改定支援業務委託 改定検討委員会の実施				
	[令和5年度]	改定支援業務委託 改定検討委員会の実施 パブリック・コメントの実施				
	[令和6年度]	改定検討委員会の実施 墨田区公園マスタープランの改定				
経 過	開始年度	令和4年度			終了予定	令和6年度
	[令和4年度]	改定支援業務の委託 改定検討委員会の実施（第1回：令和5年1月） 地域産業都市委員会で「改定の方向性」について報告（令和5年3月）				
	[令和5年度]	改定支援業務の委託 改定検討委員会の実施（第2回：令和5年8月、第3回：令和5年10月、第4回：令和5年12月） 公園の在り方調査・災害対策特別委員会の設置（令和5年5月） 特別委員会で「改定作業の進捗等」、「改定案」について報告（令和5年7月、令和6年1、2月） 「改定案」についてパブリックコメントを実施（令和6年2～3月）				
	[令和6年度]	改定検討委員会の実施（第5回：令和6年4月） 特別委員会で「改定」について報告（令和6年4月） 墨田区公園マスタープランの改定（令和6年4月）				
議 会 質 問 の 状 況	[令和5年3月]	墨田区公園マスタープランにおけるドッグラン、BBQの位置付けについて アクセス不便地域の解消、ボール遊びができる公園づくりについて こども基本法の施行などを受け、こどもの視点がより重要となることについて				
	[令和5年11月特別]	特別委員会から「公園の在り方に関する提言書」の提出				
	[令和6年2月特別]	子どもの意見の反映、インクルーシブな公園づくり、復興公園のPRについて				
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）					5,000	7,166	568
A.決算額（令和6年度は見込み）					4,995	7,065	568
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	4,995	7,065	568
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9%	98.6%	100.0%
B.人コスト					16,358	17,024	
総事業決算額（A+B）		0	0	0	21,353	24,089	
予算書P（令和6年度）		P210		執行実績報告書P（令和5年度）		P152	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	学識経験者報酬	56	報酬	学識経験者報酬	168	報酬	学識経験者報酬	56
委託料	改定支援業務	4,939	委託料	改定支援業務	6,897	需用費	印刷製本	512

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	改定検討委員会の実施回数(累計)				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4	R5	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	1	3	1	
		実績	-	-	1	3		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	よりよい改定とすることを目的とし、学識経験者を交えた改定検討委員会を開催するため、改定検討委員会の実施回数を活動指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区公園マスタープランの改定数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R5	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	0	0	1	-
		実績	-	-	0	0		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園等の整備・管理に関する今後の羅針盤となる公園マスタープランに基づいた整備や管理を進めることが区民等の生活をより豊かにすることにつながるため、墨田区公園マスタープラン改定数を指標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	令和6年4月に「墨田区公園マスタープラン」を改定し、改定後に印刷製本を行い、本事業を完了とする。

課題・問題点
今後は、「墨田区公園マスタープラン」の施策・取組を推進しつつ、令和13年度に中間改定する。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公園等新設・再整備事業費					2
目 的	公園利用者の多様なニーズに応え、公園利用者が魅力を感じられる公園の新設・再整備を進める。 また、噴水やじゃぶじゃぶ池等の親水施設は、シンボリックな施設であることから、これら施設をリノベーションし、公園の魅力向上及び都市のにぎわいの創出を図る。					主管課・係（担当）
						公園課計画調整担当
						03-5608-6291
対 象 者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤10	
事 業 内 容	1 公園等新設・再整備 公園マスタープラン（旧公園マスタープラン）における公園整備戦略プラン10に基づき整備した。 都市生活に水と緑の潤いを与えるまちの骨格となる新しい公園をつくる。 すみだを代表する風景のある公園をつくる。 気軽に行ける身近な公園を新しくつくる。 災害からまちを守る公園を新しくつくる。 誰でも快適に使える公園をつくる。 子どもを健やかに育てる公園をつくる。 訪れた人の心と体が健康になる公園をつくる。 歴史や文化を伝える公園をつくる。 地域コミュニティを育てる公園をつくる。 区民や事業者のアイデアを具現化できる公園をつくる。 2 親水施設リノベーション 公園内の親水施設の老朽度、利用者による満足度、ライフサイクルコスト等を総合的に検証し、リノベーション又は施設の廃止を行う。リノベーションの際は、最新技術を用いた施設の導入により、新機能（ライトアップ、真夏のミスト、防火用水等）の追加やライフサイクルコストの縮減を図る。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	—
	過去3年間の実績					
	[令和3年度] 整備工事（かしわ児童遊園、旧中川水辺公園）、基本実施設計（なつめ公園）、実施設計（両国第一児童遊園、あずま百樹園）					
	[令和4年度] 整備工事（あずま百樹園（キャンパスコモン）、両国第一児童遊園、旧中川水辺公園、墨田二丁目児童遊園）、基本・実施設計（押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園（すみだスケートボードパーク））、実施設計（あずま百樹園）					
	[令和5年度] 整備工事（なつめ公園、押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園、大正民家園・旧もみじ橋児童遊園（ブロック塀改修））、基本・実施設計（東墨田第一公園、横川公園）、ドッグラン試験設置（大横川親水公園） [令和5・6年度]整備工事（あずま百樹園）					
議 会 質 問 の 状 況	[令和3年3月] 未就学児が水遊びできる施設整備について [令和4年6月] 公園の機能充実（歴史的特徴の活用、ドッグラン、ボール遊び広場）について [令和4年11月] 錦糸公園の複合遊具の混雑解消について [令和4年11月決特] インクルーシブ遊具のあり方、利用促進などについて [令和6年2月予特] ドッグランの試験設置について [令和6年2月予特] スケートボードの技術力向上について					
そ の 他 特 記 事 項	大学誘致に伴う周辺整備事業費（あずま百樹園）を含む。 大横川親水公園及び竪川親水公園の再整備は、令和4年度から「親水公園再整備事業」に移行。					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		279,500	166,827	113,911	331,720	472,692	291,695
A.決算額(令和6年度は見込み)		274,393	157,703	109,266	326,033	472,364	291,695
財 源	国						
	都	3,450				41,068	5,816
	その他		4,448				
一般財源		270,943	153,255	109,266	326,033	431,296	285,879
執行率(%)		98.2%	94.5%	95.9%	98.3%	99.9%	100.0%
B.人コスト		6,789	7,058	12,314	15,704	18,760	
総事業決算額(A+B)		281,182	164,761	121,580	341,737	491,124	
予算書P(令和6年度)		P222		執行実績報告書P(令和5年度)		P163	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	実施設計等	31,793	委託料	実施設計等	19,462	委託料	実施設計等	19,720
使用料及び賃借料	集会所使用料	0	使用料及び賃借料	集会所使用料	0	使用料及び賃借料	カメラリース等	595
工事請負費	公園等整備工事	258,240	工事請負費	公園等整備工事	452,902	工事請負費	公園等整備工事	271,380
公有財産購入費	土地購入費	36,000						

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	新設・再整備公園数(累計)				単 位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		24	R7	目標	3	7	9	13
				実績	3	5	7	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	18	20	22	26	26
		実績	16	18	20	24		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	令和6年改訂マスタープランを踏まえた整備数を目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内公園等の新設や改修工事を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も継続して、老朽化した公園施設の再整備や改修を行っていく。

課題・問題点
公園マスタープランの公園整備戦略プラン10に基づき、一定の整備を推進してきた。 しかしながら、平成29年に改正された都市公園法でPark-PFI制度が創設されるなどの民間活力の導入の視点や多種多様な公園の使われ方、区民ニーズの変化は急速に進んでいることから、令和6年度に改定した墨田区公園マスタープランを踏まえた、新たなニーズに応えられる公園整備を着実に進める必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	隅田公園再整備事業費					3
目 的	隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、日本庭園の歴史的・文化的価値をいかすとともに、安全・安心に利用できる公園に再整備することで、公園の更なる魅力向上を図る。また、未再整備範囲において、向島方面などの区北部への回遊性強化と隅田公園を核とした地域活性化という観点で再整備を進めていく。					主管課・係（担当）
						都市整備課都市整備・河川担当
						03-5608-6281
対 象 者	公園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントや第1期再整備による新たな賑わいの場に訪れる来街者など）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事 業 内 容	【第2期再整備】 隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲について、ひょうたん池を囲む楕円園路の整備、築山の切下げ、眺望台の整備、桜の列植、見通しを悪くしている樹木の整理、牛嶋神社南側の広場整備等の第2期再整備を行う。 また、再整備に併せて民間活力を導入し（指定管理、施設設置）、更なる賑わいや公園北側への回遊性を創出する。 【今後の再整備構想の策定】 未再整備範囲について、区北部への回遊性強化と隅田公園を核とした地域活性化という観点で、再整備に向けた検討を進めていく。					
経 過	開始年度	令和2年度			終了予定	-
	令和2年度	第2期再整備基本計画				
	令和3年度	第2期再整備基本設計、学識経験者を交えた庁内検討会（計5回） 民間活力導入に向けた調査・検討（サウンディング型市場調査） 都市計画事業認可申請・取得				
	令和4年度	ひょうたん池循環施設等改修工事 第2期再整備実施設計 指定管理者の公募				
	令和5・6年度	第2期再整備工事				
	令和6年度	今後の再整備構想の策定等 北十間川・隅田公園観光回遊路事業において実施				
議 会 質 問 の 状 況	[令和4年3月] 第2期再整備において地域の意見の反映をすること、及び計画的に再整備することについて 言問通り以北における再整備について [令和5年3月] 民間活力導入に向けた公募について 隅田公園の指定管理範囲について [令和5年9月] 指定管理者の指定について [令和5年11月決特] 言問通り以北の再整備及び魚釣り場について					
そ の 他 特 記 事 項	民間活力導入の手法は、第1期・第2期再整備範囲及び隅田公園自動車駐車場を対象とした指定管理者制度と、その事業者によるカフェ等の設置管理許可制度である。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）				10,000	140,915	159,800	254,700
A.決算額（令和6年度は見込み）				9,577	133,199	159,800	254,700
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	9,577	133,199	159,800	254,700
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	95.8%	94.5%	100.0%	100.0%
B.人コスト				13,194	12,268	12,768	
総事業決算額（A+B）		0	0	22,771	145,467	172,568	
予算書P（令和6年度）		P222		執行実績報告書P（令和5年度）		P163	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者報償金	439	委託料	監督補助	2,300	委託料	監督補助ほか	14,700
委託料	実施設計ほか	22,968	工事請負費	第二期再整備工事 (前払金)	157,500	工事請負費	第二期再整備工事 (完成払)	240,000
工事請負費	ひょうたん池工事	109,793						

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	第2期再整備範囲面積(累計)				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		16,500	R7	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	0	2400	2400	16500	16500
		実績	-	0	2400	2400		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	第2期再整備を着実に進めていくことが、公園の更なる魅力向上に繋がるため、活動指標としたため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	-	44	-
				実績	41.5	-	42.4	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	-	48	-	50	50
		実績	46.7	-	50.8	-		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がるため、成果指標としたため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、地元町会、関係団体等の協力も得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
隅田公園を核とした地域活性化と向島方面など区北部への回遊性強化の観点から、言問通り以北の未再整備範囲について、地域の声を聞きながら再整備を検討していく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	親水公園再整備事業費					4
目 的	親水公園利用者の多様なニーズに応え、利用者が魅力を感じられる親水公園の再整備を進める。 既存の親水施設を生かした改修を行うことで、水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる空間を創出する。					主管課・係（担当）
						公園課計画調整担当
						03-5608-6291
対 象 者	親水公園を利用する区民及び来街者 （親水公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、親水公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4	
事 業 内 容	大横川親水公園は、浅草と東京スカイツリーを結ぶ動線に繋がっており、来街者を錦糸町方面へと誘導する重要な施設である。今後、北十間川河川テラスと連続化されれば、来街者の増加も見込まれるため、老朽化した施設をリノベーションし、公園の魅力及び回遊性の向上に資するよう再整備する。 また、大横川親水公園と豎川親水公園の未整備区域を整備し、水と緑に親しめ、うるおいと安らぎのある親水空間のネットワーク化を図る。					
経 過	開始年度	令和4年度			終了予定	令和12年度
	[令和4年度] 大横川親水公園未整備区域及びさざんか児童遊園再整備実施設計 大横川親水公園浄化設備外の実施設計 大横川親水公園再整備に係る民間活力導入に関するサウンディング型市場調査 [令和5・6年度] 大横川親水公園未整備区域及びさざんか児童遊園整備工事 大横川親水公園浄化施設操作盤等改修工事					
議 会 質 問 の 状 況	[平成30年11月決特] 水の流れが滞っているなど公園の課題解決に向けた計画的な大規模修繕について [令和元年2月予特] 大横川親水公園未整備区域（撞木橋跡南側）の跡地活用について [令和元年11月] 北十間川付近も含めた大横川親水公園と周辺整備のあり方について [令和3年2月予特] 子どもたちが水に親しめる親水施設の整備について [令和4年11月] 大横川親水公園長崎橋跡から江東橋の間の遊具の設置について [令和5年2月予特] 大横川親水公園の北十間川からの取水について [令和5年11月] 大横川親水公園の今後の管理運営の方向性について [令和6年2月予特] 大横川親水公園の魚つり場の試験運用について					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

A.決算額（令和6年度は見込み）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）					20,860	64,500	182,700
A.決算額（令和6年度は見込み）					19,635	64,500	182,700
財 源	国						
	都					64,500	107,544
	その他						
一般財源		0	0	0	19,635	0	75,156
執行率（％）		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.1%	100.0%	100.0%
B.人コスト					9,422	7,252	
総事業決算額（A+B）		0	0	0	29,057	71,752	
予算書P（令和6年度）		P222		執行実績報告書P（令和5年度）		P163	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和４年度（決算）			令和５年度（決算）			令和６年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	実施設計等	19,635	工事請負費	整備工事等	64,500	委託料	実施設計等	24,700
						工事請負費	整備工事等	158,000

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	親水公園の再整備箇所数(累計)				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5	R7	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	0	0	2	5
		実績	—	—	0	0		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる空間として整備する、本事業における親水公園の再整備箇所を指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	親水公園の再整備を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる親水公園の再整備を行っていく。

課題・問題点
令和6年度に改定した墨田区公園マスタープランにおいて、水辺公園を中心とした水と緑のネットワークの拡充が取組の一つとして掲げられており、ネットワークの形成によるウォークラブルなまちづくりに活かせる公園整備を進める必要がある。民間活力導入や様々な公園の使い方へ対応する視点を取り入れ、着実に整備を進めていく。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	江東内部河川整備事業費					5
目 的	区内の水辺を十分に活用し、都市生活にうるおいとやすらぎを与える水と緑の骨格軸を整備する。					主管課・係（担当）
						都市整備課都市整備・河川担当
						03-5608-6294
対 象 者	区民及び来街者					
根 拠 法 令	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則					
関 連 計 画	江東内部河川整備計画（東京都）					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事 業 内 容	1 調整業務 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備に関する連絡調整及び設計・施工協議 2 遊歩道整備工事 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備後に遊歩道を整備し、水と緑に親しめる空間を創出する。					
経 過	開始年度	平成24年度			終了予定	令和7年度
	過去3年間の実績 [令和3年度] 横十間川修景施設整備工事（その1）（天神橋～神明橋：右岸） [令和4年度] 横十間川修景施設整備工事（その2）（天神橋～神明橋：右岸） [令和5年度] 横十間川修景施設整備工事（その3）（天神橋～神明橋：右岸） 西十間橋下護岸連続化工事（北十間川西十間橋下：両岸）					
議 会 質 問 の 状 況	[令和元年9月] 新保健施設等複合施設建設計画を反映した河川整備（スロープ整備）について 船着場の整備（門扉、鍵）について 河川の水質改善及び東京都との協力について [令和3年3月] 河川における照明灯の整備について					
そ の 他 特 記 事 項	横十間川修景施設整備工事（R3～R5年度）箇所に隣接して、新保険施設等複合施設（すみだ保健子育て総合センター）が建設中					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		0	5,000	13,000	30,430	181,000	5,200
A.決算額（令和6年度は見込み）		0	4,972	6,212	29,618	173,286	5,200
財 源	国						
	都					146,773	
	その他						
一般財源		0	4,972	6,212	29,618	26,513	5,200
執行率（％）		#DIV/0!	99.4%	47.8%	97.3%	95.7%	100.0%
B.人コスト		0	8,822	8,796	8,179	8,512	
総事業決算額（A+B）		0	13,794	15,008	37,797	181,798	
予算書P（令和6年度）		P218		執行実績報告書P（令和5年度）		P159	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和４年度（決算）			令和５年度（決算）			令和６年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	護岸連続化設計委託	5,632	工事請負費	護岸連続化工事	146,773	委託料	修景実施設計	5,200
工事請負費	修景施設整備	23,986		修景施設整備	26,513			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	遊歩道開放区間(両岸累計)(北十間川樋門から西側を除く)				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6,559	R 7	目標	1,764	2,694	3,374	3,899
				実績	1,764	2,694	3,374	3,899
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,209	4,519	5,179	5,539	6,019	6,559
		実績	3,899	3,899	4,479	4,504		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	護岸上の遊歩道を開放することで、親水空間の利用状況を把握することが可能である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		20.0	R 7	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10.0	—	15.0	—	—	20.0
		実績	11.1	—	9.4	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	水と緑の骨格軸となる河川護岸整備が進捗するにつれ、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自然環境が良いと感じられる区民の割合が約1割であることから、区民がうるおいとやすらぎを感じられるよう、今後も継続して修景整備を遂行する必要がある。

課題・問題点
東京都の護岸整備進捗状況が遅延することにより、その後に区が行う遊歩道整備及び開放が遅れることとなる。常に東京都の事業進捗状況を把握するとともに、連絡を密にしていく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公園及び児童遊園維持管理費					6
目 的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる公園・児童遊園を維持管理する。					主管課・係（担当）
						公園課計画調整担当
						03-5608-6291
対 象 者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6、会計年度任用職員2	
事 業 内 容	区内にある134か所の公園・児童遊園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。 （R6.4.1法恩寺橋児童遊園、もみじばし児童遊園、横川橋児童遊園、さざんか児童遊園、ささのは児童遊園を大横川親水公園に統合）（大横川親水公園と竪川親水公園は親水公園を除く。）					
経 過	開始年度	-		終了予定	-	
	立花一丁目・二丁目の公園・児童遊園、おしなり公園、錦糸公園においては、清掃及び植栽管理を一括して委託している。 堤通公園においては、遊具貸出の委託に清掃と植栽管理を包括している。 区内の61か所の公園等は、町会との公園愛護協定を締結し、区民による公園清掃等が行われている。					
議 会 質 問 の 状 況	[令和4年9月] 公園管理に指定管理者制度を導入した際の、区内中小企業の受注機会確保について [令和4年11月決特] 錦糸公園等人気のある遊具の混雑緩和対策 （公園遊具の分散配置や、ホームページでの公園施設の情報提供）について [令和5年2月決特] 公園愛護団体の支援について					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		488,089	540,554	576,834	615,275	659,274	715,946
A.決算額（令和6年度は見込み）		472,953	521,011	547,755	545,820	639,074	715,946
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		472,953	521,011	547,755	545,820	639,074	715,946
執行率（％）		96.9%	96.4%	95.0%	88.7%	96.9%	100.0%
B.人コスト		11,316	12,351	12,314	9,706	11,173	
総事業決算額（A+B）		484,269	533,362	560,069	555,526	650,247	
予算書P（令和6年度）		P219		執行実績報告書P（令和5年度）		P160	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和４年度（決算）			令和５年度（決算）			令和６年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		41,920	需用費		40,070	需用費		50,183
	（光熱水費）	36,271		（光熱水費）	35,402		（光熱水費）	44,481
	（一般需用費）	5,649		（一般需用費）	4,668		（一般需用費）	5,702
役務費	清掃、ゴミ収集外	371,024	役務費	清掃、ゴミ収集外	442,652	役務費	清掃、ゴミ収集外	533,818
委託料	保守点検、廃棄物処分外	46,398	委託料	保守点検、廃棄物処分外	50,656	委託料	保守点検、廃棄物処分外	53,915
使用料及び賃借料	借上げ・リース等	21,986	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	23,806	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	25,185
工事請負費	維持補修	59,621	工事請負費	維持補修	76,647	工事請負費	維持補修	47,263
原材料費		4,458	原材料費	原材料費	4,895	原材料費		5,318
備品購入費		413	備品購入費	備品購入費	348	備品購入費		264

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	区立公園・児童遊園の平均清掃回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		104	R7	目標	104	104	104	104
				実績	90	90	90	90
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	104	104	104	104	104	104
		実績	90	90	90	90		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により週2回清掃することを目標値とした。 また、このほかに愛護活動等による清掃も行われている。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園・児童遊園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	公園は都市での貴重な遊び場や憩いの場であることから継続した維持管理が必要である。 利用者ニーズの多様化により、これまでどおりの維持管理では良好な維持管理が難しくなっており、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。

課題・問題点
利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。 芝生の管理については、多くの維持管理コストがかかるほか、養生期間中は芝生の利用ができないため、養生範囲等の工夫が必要である。

施 策	策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	親水公園維持管理費						7
目 的	だれもが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる親水公園を維持管理する。						主管課・係（担当）
							公園課計画調整担当
							03-5608-6291
対 象 者	親水公園を利用する区民及び来街者 （親水公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、 親水公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）						
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン						
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6、会計年度任用職員2		
事 業 内 容	大横川親水公園及び豎川親水公園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。						
経 過	開始年度	平成5年度			終了予定	-	
	大横川親水公園 [昭和56年度] 整備工事開始 [昭和58年度] 工事が完了した区間を先行開放（区間：北十間川～平川橋） その後、工事完了区間から順次部分開放 [平成5年度] 開園（区間：北十間川～撞木橋跡） （未整備区間：撞木橋跡～豎川間） 豎川親水公園 [昭和63年度] 整備工事開始 [平成5年度] 開園（区間：牡丹橋～松本橋） [平成6年度] 開放（区間：新辻橋～牡丹橋） （未整備区間：新辻橋～大横川合流点、四之橋付近）						
議 会 質 問 の 状 況	[平成30年9月] 大横川親水公園の照度について						
そ の 他 特 記 事 項	「豎川親水公園の維持管理に関する協定書」に基づく費用負担：墨田区（48/100）、江東区（52/100）						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		150,606	157,997	163,301	148,451	202,949	182,448
A.決算額（令和6年度は見込み）		134,463	138,185	148,336	131,224	191,023	182,448
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		134,463	138,185	148,336	131,224	191,023	182,448
執行率（％）		89.3%	87.5%	90.8%	88.4%	94.1%	100.0%
B.人コスト		11,316	12,351	12,314	9,678	11,173	
総事業決算額（A+B）		145,779	150,536	160,650	140,902	202,196	
予算書P（令和6年度）		P219		執行実績報告書P（令和5年度）		P160	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		11,135	需用費		12,055	需用費		16,052
	（光熱水費）	9,710		（光熱水費）	10,677		（光熱水費）	14,590
	（一般需用費）	1,425		（一般需用費）	1,378		（一般需用費）	1,462
役務費	清掃、草刈外	73,645	役務費	清掃、草刈外	103,839	役務費	清掃、草刈外	114,754
委託料	管理業務、保守点検外	22,537	委託料	管理業務、保守点検外	25,220	委託料	管理業務、保守点検外	26,903
工事請負費	維持補修	23,120	工事請負費	維持補修	49,120	工事請負費	維持補修	23,939
原材料費		787	原材料費	原材料費	789	原材料費		800

事業成果	手段に対する指標 （活動指標）	指 標	親水公園の平均清掃回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		117	R7	目標	117	117	117	117
				実績	105	109	109	110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	117	117	117	117	117	117
		実績	110	110	110	110		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により週2回の清掃と落ち葉シーズンの清掃を合わせた清掃回数を目標値とした。 また、このほかに愛護活動等による清掃も行われている。							
	目的に対する指標 （成果指標）	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	親水公園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	親水公園は、施設の老朽化が進んでいるが、区立公園の中でも親水公園は、特に水と緑に触れ合える特色を持った公園であり、利用者が満足するような維持管理を継続する必要がある。 利用者ニーズの多様化により、これまでどおりの維持管理では良好な維持管理が難しくなっており、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。

課題・問題点
利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公園施設安全管理事業費					8
目 的	公園利用者が、安全で安心して遊具で遊べるよう維持管理する。					主管課・係（担当）
						公園課計画調整担当
						03-5608-6291
対 象 者	公園等を利用する区民及び来街者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6、会計年度任用職員2	
事 業 内 容	公園遊具を安全・快適に利用できるよう、年に1回専門業者による安全基準の適合判断、老朽化による損傷度調査、遊具間の安全領域調査を行い、あわせて職員による日常点検により危険箇所の早期発見に努め、遊具の健全性と安全性を確保する。 毎年行っている遊具点検の結果に基づき、特に危険性が高い遊具から、随時改修を行っていく。					
経 過	開始年度	平成20年度			終了予定	—
	過去3年間の実績					
	<u>点検で危険性が高いと判定された遊具数</u>					
	点検した総遊具数					改修した遊具数
	[令和3年度]	39件/577件			48件	
[令和4年度]	30件/586件			31件		
[令和5年度]	27件/579件			26件		
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	専門業者による遊具定期点検により発見された変状及び異常については、直ちに使用禁止し、遊具の補修・改修を実施する。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		4,900	15,303	22,260	26,760	15,830	15,920
A.決算額（令和6年度は見込み）		4,626	14,671	21,900	24,567	14,785	15,920
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,626	14,671	21,900	24,567	14,785	15,920
執行率（％）		94.4%	95.9%	98.4%	91.8%	93.4%	100.0%
B.人コスト		11,316	12,351	12,314	9,678	11,173	
総事業決算額（A+B）		15,942	27,022	34,214	34,245	25,958	
予算書P（令和6年度）		P220		執行実績報告書P（令和5年度）		P161	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	遊具点検	2,090	委託料	遊具点検	2,200	委託料	遊具点検	2,463
工事請負費	改修工事	22,477	工事請負費	改修工事	12,585	工事請負費	改修工事	13,457

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	専門家による点検回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	遊具の定期的な点検は、遊具に起因する事故を未然に防ぎ、安全に遊べる公園環境の維持に繋がるので目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安全点検及び点検後の補修・改修により利用者が安全に遊具で遊べる公園環境を維持していることで、区民満足度が向上する。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	毎年一定の遊具数を改修しているにもかかわらず、経年で劣化していく遊具もあるため、点検結果が改善していかないのが現状である。 公園利用者の安全に関わる重要な事業であり、子どもたちにより安全な場を提供していく必要があることから、拡充する必要がある。

課題・問題点
区内公園等にある遊具の総数は586基(令和6年3月31日現在)であることから、遊具の定期点検を踏まえ、適切に維持管理をしていく必要がある。 また、最新の安全基準に適合していない遊具や耐用年数を超えている遊具について、遊具の更新を図っていく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	街路樹及び緑地帯維持管理費					9
目 的	通行者が安全・快適に通行でき、緑のうるおいとやすらぎを感じられる道路空間を確保するため、道路等の街路樹及び緑地帯を適正に維持管理する。					主管課・係（担当）
						道路・橋りょう課計画調整担当
						03-5608-6597
対 象 者	区道を通行する車両・歩行者（区民及び来街者）					
根 拠 法 令 関 連 計 画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員1	
事 業 内 容	街路樹剪定及び緑地帯の手入れ、除草・清掃、害虫駆除等を適宜、適切に実施する。					
経 過	開始年度	昭和28年度		終了予定	—	
	過去3年間の実績 街路樹剪定本数(実績/目標) [令和3年度] 3,609/3,600本 [令和4年度] 4,354/3,600本 [令和5年度] 3,926/3,600本					
議 会 質 問 の 状 況	[平成29年11月決特] 視界を妨げている私的植栽の認識について [令和元年11月] 街路樹の台風対策について 街路樹整備の中長期的な方針や計画推進について [令和4年11月決特] プラタナス等の大木化した樹木の更新について [令和5年11月決特] プラタナス等の大木化した樹木の更新状況について					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
予算現額（事業費）		102,108	106,734	106,684	109,791	111,623	123,193
A.決算額（令和６年度は見込み）		101,294	106,508	105,678	105,675	110,188	123,193
財 源	国						
	都						
	その他						103,390
一般財源		101,294	106,508	105,678	105,675	110,188	19,803
執行率（％）		99.2%	99.8%	99.1%	96.3%	98.7%	100.0%
B.人コスト		4,526	4,411	5,277	8,108	9,360	
総事業決算額（A+B）		105,820	110,919	110,955	113,783	119,548	
予算書P（令和６年度）		P213		執行実績報告書P（令和５年度）		P154	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		793	需用費		582	需用費		839
	（光熱水費）	426		（光熱水費）	273		（光熱水費）	530
	（一般需用費）	367		（一般需用費）	309		（一般需用費）	309
役務費	剪定、清掃外	103,844	役務費	剪定、清掃外	106,823	役務費	剪定、清掃外	111,794
委託料	害虫駆除、花壇管理等	671	委託料	害虫駆除、花壇管理等	2,398	委託料	害虫駆除等	10,173
原材料費		367	原材料費		385	原材料費		387

事業の成果	手段に対する指標 （活動指標）	指標	街路樹剪定延べ本数				単位	本
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	R1
		3,600	R7	目標	3,600	3,600	3,600	3,600
				実績	3,666	3,383	2,909	3,265
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績	3,663	3,609	4,354	3,926		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	定期的な剪定や植替え等の維持管理を実施しているため、年間の街路樹剪定本数を目標値とした。							
	目的に対する指標 （成果指標）	指標	「緑の豊かさ」を感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	R1
		30	R7	目標	25.6	—	26.7	—
				実績	25.6	—	23.5	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.8	—	28.9	—	30	30
		実績	27.2	—	28.4	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	街路樹や緑地帯整備だけでなく、剪定等の良好な維持管理を行うことが、緑の豊かさを感じる区民割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	街路樹の本数及び緑地帯の面積の大幅な増減はない。 老木、大木化した樹木の更新を進めるとともに、維持管理を行っていく。

課題・問題点
ブラタナス等、樹勢が強く夏季・冬季の年2回剪定が必要となる樹種については、剪定の頻度が少ない樹種への変更を進めているが、依然として年2回剪定の樹種が多数あるため、引き続き変更を進めていく必要がある。 ハナモモ等花が咲き、実のなる樹種は、落ちた実で汚れた道路面の清掃が生じるため、適時・適切な維持管理が必要となる。 街路樹の更新や維持管理に関する計画を作成し、より適切な街路樹の管理を行う必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)					10
目 的	都市公園法や墨田区立公園条例等に基づき、路上生活者に対して注意・指導を実施し自立支援への案内を行う。公園及び児童遊園が適正に維持されている。					主管課・係(担当)
						土木管理課占用・監察担当
						03-5608-6282
対 象 者	公園及び児童遊園を利用する区民及び来街者					
根 拠 法 令 関 連 計 画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:サンエス警備保障株式会社	
事 業 内 容	路上生活者への注意、指導及び自立支援への誘導に重点をおいた公園警備委託事業を実施する。					
経 過	開始年度	平成17年度		終了予定	なし	
	平成31年4月から令和6年3月まで、豎川第一公園で東京都と23区の共同事業である「ホームレス地域生活移行支援事業」が実施されていた。 また、路上生活者への注意・指導及び自立支援のための相談窓口等の案内に重点をおいた公園警備委託事業を実施している。(平成18年度から、暫定的に土木管理課で事業を実施)					
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		32,543	35,002	34,310	34,273	34,391	34,273
A.決算額(令和6年度は見込み)		32,379	34,087	34,124	34,087	34,205	34,273
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		32,379	34,087	34,124	34,087	34,205	34,273
執行率(%)		99.5%	97.4%	99.5%	99.5%	99.5%	100.0%
B.人コスト		2,626	2,647	2,639	2,454	2,554	
総事業決算額(A+B)		35,005	36,734	36,763	36,541	36,759	
予算書P(令和6年度)		P219		執行実績報告書P(令和5年度)		P160	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	公園警備委託	34,087	委託料	公園警備委託	34,205	委託料	公園警備委託	34,273

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	パトロール回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	365	365	365	366
				実績	365	365	365	366
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	366	365	365
		実績	365	365	365	366		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園及び児童遊園の維持管理のために実施しているパトロールの回数を指標とした。 平日は閉庁時間である16時間の警備、土日祝日は24時間警備を実施しているため、目標値を年間の日数(365回又は366回)とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	不正行為等注意件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		8,700	R7	目標	15,000	14,200	13,420	12,640
				実績	14,971	8,775	9,342	8,006
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11,860	11,080	10,300	9,520	9,000	8,700
		実績	9,212	9,803	12,129	9,338		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園及び児童遊園における不正行為等があった際、公園の適正利用を目的とした注意を行っているため、これを指標とした。なお、目標値は過去の実績数を基に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民等から寄せられる陳情について、適切かつスピード感をもって対応する。 また、公園内での不正行為等の防止のため適切な指導を行い、誰もが安心して楽しめる公園施設の維持に努める。

課題・問題点
区民等から、安全かつ快適な公園が求められていることから、今後も費用対効果を勘案しながら、公園警備を維持していく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	土木施設監察指導事務費					11
目 的	本事業により、区が管理する道路等の土木施設における不正使用が是正され、適正な利用ができています。					主管課・係（担当）
						土木管理課占用・監察担当
						03-5608-6282
対 象 者	区で管理する土木施設を利用する一般区民及び企業者					
根 拠 法 令	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則、車両制限令、河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例、都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、東京都屋外広告物条例・同施行規則、墨田区土木施設監察事務処理要綱					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1	
事 業 内 容	区が管理する土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールと陳情等に対応した巡回を行い、是正指導をしている。					
経 過	開始年度	昭和50年度			終了予定	なし
	監察件数 [令和3年度] 243件 [令和4年度] 258件 [令和5年度] 288件 不定住者対応件数 [令和3年度] 26件 [令和4年度] 30件 [令和5年度] 25件					
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		50	50	45	46	42	38
A.決算額（令和6年度は見込み）		41	41	40	40	42	38
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		41	41	40	40	42	38
執行率（％）		82.0%	82.0%	88.9%	87.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト		11,359	7,058	7,037	6,543	6,810	
総事業決算額（A+B）		11,400	7,099	7,077	6,583	6,852	
予算書P（令和6年度）		P210		執行実績報告書P（令和5年度）		P151	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品	12	需用費	消耗品	14	需用費	消耗品	15
使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	役務費	携帯電話料金	23

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	監察指導件数(定期パトロール及び陳情)				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		140	R7	目標	210	200	190	185
				実績	201	213	237	225
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	175	165	160	155	150	140
		実績	206	217	228	263		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区が管理する道路等の土木施設が適正に利用されるために、監察指導している件数を指標とした。目標値は過去の数値を基に設定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	継続是正指導中の案件				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		60	R7	目標	80	75	70	70
				実績	79	107	98	119
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68	68	65	65	63	60
		実績	127	85	116	143		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区が管理する土木施設の不正使用を是正するために本目標値を設定した。目標値は過去の数値を基に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールや、陳情等に対応した監察指導を実施しているが、継続是正指導中の案件が増加傾向にある。是正指導を適正に継続しつつ、区民等からの陳情に対しては、素早い対応が必要不可欠であるため、所轄警察署並びに国道及び都道管理者と協力して迅速な対応を続けていく。

課題・問題点
昨今、土木施設における不法占用や不法行為が多様化しているとともに、区民から不法占用等に関する是正の要望も高まっていることから、所轄警察や東京都等と連携したパトロール・指導を強化する必要がある。

施 策	策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位	
事 業 名	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費						12	
目 的	北十間川西側区間(隅田川から東武橋付近)の水辺の整備(親水テラス及び船着場)やコミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替え実施することで、河川、道路、公園及び鉄道高架下の一体活用によるにぎわい創出と回遊性の向上を図る。						主管課・係(担当)	
							都市整備課 都市整備・河川担当	
							03-5608-6294	
対 象 者	区民及び来街者							
根 拠 法 令 関 連 計 画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則、墨田区道における移動等円滑化の基準に関する条例、東京都福祉のまちづくり条例、河川法令、特別区における東京都の事務処理に関する条例、同施行規則、都市公園法、墨田区立公園条例、同施行規則、江東内部河川整備計画(東京都)							
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先		常勤1		
事 業 内 容	東京都の耐震護岸整備や東武鉄道(株)の高架下活用に合わせて、北十間川西側区間の親水テラス整備、小梅橋船着場整備、コミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替えを行った。 また、北十間川樋門耐震化に合わせ、上部の開放及び動線の連続化を行い、回遊性の向上等を図る。							
経 過	開始年度	平成26年度			終了予定	-		
	過去3年間の実績 [令和3年度] 協議会の開催、北十間川親水テラス修景整備工事(その3) 着手 [令和4年度] 協議会の開催、北十間川親水テラス修景整備工事(その3) 完了 [令和5年度] 協議会の開催、北十間川河川用地照明施設整備工事外 完了							
議 会 質 問 の 状 況	[平成30年3定] (陳情:不採用)隅田公園の樹木伐採について [令和2年9月、11月決特] 隅田公園再整備(日本庭園の北側)について [令和3年11月] 三つ目通りと区道墨22号路線の交差点での横断歩道設置について [令和4年9月] 隅田公園の指定管理者制度導入について							
そ の 他 特 記 事 項	東京都の北十間川樋門耐震化工事等が遅れていることから、区が実施予定のテラス修景整備工事(樋門上部)も遅れることとなる。							

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		1,011,758	181,462	19,237	10,664	4,782	0
A.決算額(令和6年度は見込み)		897,750	173,998	13,098	10,587	4,390	0
財 源	国		15,361				
	都		11,000				
	その他						
一般財源		897,750	147,637	13,098	10,587	4,390	0
執行率(%)		88.7%	95.9%	68.1%	99.3%	91.8%	#DIV/0!
B.人コスト		21,988	21,988	8,796	8,179	8,512	
総事業決算額(A+B)		919,738	195,986	21,894	18,766	12,902	
予算書P(令和6年度)		P218		執行実績報告書P(令和5年度)		P159	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者報償金	50	報償費	学識経験者報償費	83			
需用費	協議会資料用消耗品	40	委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,100			
委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,500	工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	3,208			
工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	8,997						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	北十間川水辺活用協議会(地元協議会)の開催回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4	R 5	目標	4	4	4	4
				実績	4	5	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4		
		実績	4	4	3	3		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北十間川周辺の一体整備に向けて、平成27年度から関係機関や地元町会・商店会が参加する勉強会をスタートさせ、その後に発展形として「北十間川水辺活用協議会」を設立し、水辺の整備や活用について協議を行っている。整備が完了するまでの間の地元住民との情報交換等が必要なため、開催回数を活動指数とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	北十間川テラス・区道・隅田公園の整備面積(累計)				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		21,640	R 5	目標	0	0	0	17,570
				実績	0	0	0	17570
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,630	20,630	21,180	21,870	21,870	21,870
		実績	20,630	20,630	21,180	21,870		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北十間川親水テラス(枕橋～源森橋: (右岸)930m ² 、(左岸)460m ² 源森橋～小梅橋(右岸)1,100m ² 、(左岸)550m ²)、区道墨22号路線(墨堤通り～三ツ目通り:1,410m ² 、三ツ目通り～言問橋通り:1,920m ²)、隅田公園(南側の一部:15,000m ²)、船着場(40m ²)、小梅橋(230m ²)、吾妻橋二丁目河川敷地(230m ²)の整備を行うため、成果指標とした。その後は、小梅橋～東武橋(樋門上部含む)を整備する。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、関係機関や地元町会・商店会の協力を得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
北十間川水辺活用協議会は、隅田公園及び北十間川(東京ミズマチ周辺)の整備が完成し、活動の内容が協議の場から情報連絡の場に移行したことから、令和6年度から連絡会として再編成することが決定した。小梅橋～東武橋間(樋門上部含む)の整備に関する協議が必要となった場合には、協議会として再度発足するかの検討が必要である。 また、引き続き三ツ目通りの横断歩道設置について交通管理者及び道路管理者との協議を続ける。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	河川施設維持事業費					13
目 的	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき、河川管理の一部を区が行うこととなっており、区内内部河川の護岸等、河川管理施設の適正な維持管理を行う。					主管課・係（担当）
						都市整備課 都市整備・河川担当
						03-5608-6294
対 象 者	区民及び来街者					
根 拠 法 令	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則					
関 連 計 画	江東内部河川整備計画（東京都）					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6	
事 業 内 容	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として河川管理の一部（草刈りや清掃等の日常の維持管理、年1回の護岸点検、地震時における護岸点検など）を区で行っている。（対象河川：北十間川、横十間川、旧中川、大横川、豎川、旧綾瀬川） 旧中川は、旧中川水辺公園として管理 大横川、豎川の一部は、親水公園として管理 北十間川の一部は、おしなり公園として管理 【条例受託業務】 ・河川清掃 ・樹木剪定・草刈 ・害虫駆除 ・河川施設点検・地震時緊急護岸点検 ・軽微な補修工事、 ・河川法に基づく手続きの一部（河川占用手続き等）					
経 過	開始年度	—			終了予定	-
	旧河川法時代から機関委任事務として河川の維持管理を行っている。 地方自治法改正により、「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として引き続き河川管理の一部を行っている。					
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
予算現額（事業費）		26,796	30,838	35,096	57,490	42,093	87,209
A.決算額（令和６年度は見込み）		22,728	28,497	32,931	51,006	40,346	87,209
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		22,728	28,497	32,931	51,006	40,346	87,209
執行率（％）		84.8%	92.4%	93.8%	88.7%	95.8%	100.0%
B.人コスト		11,316	13,286	18,471	7,459	16,059	
総事業決算額（A+B）		34,044	41,783	51,402	58,465	56,405	
予算書P（令和６年度）		P218		執行実績報告書P（令和５年度）		P159	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	（光熱水費）	1,260	需用費	（光熱水費）	773	需用費	（光熱水費）	1,143
	（一般需用費）	242		（一般需用費）	243		（一般需用費）	301
役務費	清掃、草刈等	18,057	役務費	清掃、草刈等	31,208	役務費	清掃、草刈等	33,677
委託料	護岸点検等	4,873	委託料	護岸点検等	5,192	委託料	護岸点検等	5,794
工事請負費	護岸補修等	26,435	工事請負費	護岸補修等	2,791	工事請負費	護岸補修等	46,154
原材料費	塗料、補修材等	139	原材料費	塗料、補修材等	139	原材料費	塗料、補修材等	140

事業成果	手段に対する指標 （活動指標）	指 標	河川護岸の草刈回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3	R 7	目標	3	3	3	3
				実績	3.5	3.5	3.5	3.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3.5	3.5	3.3	3.2		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	草刈の効果は視覚的にもわかりやすいので、年間3回草刈を行うことを目標値とした。							
	目的に対する指標 （成果指標）	指 標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		20.0	R 7	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	15.0	—	—	20.0
		実績	—	—	9.4	—	—	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切な河川護岸の維持管理を通じて、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京都の耐震護岸整備工事や低水路護岸整備工事により今後も新規にテラスや管理用通路が整備されるので、河川施設の点検や維持管理を継続的に実施して、適正な維持管理を行っていく。

課題・問題点
護岸整備工事が進捗し、新たなテラスや河川管理用通路が整備されたことから、今まで以上に施設の維持補修を適切かつ確実に遂行する必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事 業 名	区民広場維持管理費					14
目 的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる区民広場を維持管理する。					主管課・係（担当）
						公園課計画調整担当
						03-5608-6291
対 象 者	区民広場を利用する区民及び来街者 （区民広場を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など））					
根 拠 法 令 関 連 計 画	区民広場の設置及び管理に関する要綱、墨田区公園マスタープラン					
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6、会計年度任用職員2	
事 業 内 容	区民広場を安全で快適に利用できる環境としていくため、清掃・除草・樹木剪定・害虫駆除・施設改修を適宜実施する。 区民広場 26か所 8,313.91㎡					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	—
	近年の開設状況 [平成30年4月] ひいらぎ広場 492.14㎡ 長浦いきいき広場 437.65㎡ [令和2年4月] いちご広場 264.09㎡ 曳舟やすらぎ広場 326.34㎡ [令和4年4月] 向島一丁目広場 184.80㎡					
議 会 質 問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特 記 事 項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額（事業費）		7,555	7,888	9,101	14,734	12,599	15,560
A.決算額（令和6年度は見込み）		7,070	7,193	8,290	10,355	9,998	15,560
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,070	7,193	8,290	10,355	9,998	15,560
執行率（％）		93.6%	91.2%	91.1%	70.3%	79.4%	100.0%
B.人コスト		11,316	12,351	12,314	9,678	11,173	
総事業決算額（A+B）		18,386	19,544	20,604	20,033	21,171	
予算書P（令和6年度）		P220		執行実績報告書P（令和5年度）		P160	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和４年度（決算）			令和５年度（決算）			令和６年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		1,096	需用費		1,086	需用費		1,233
	（光熱水費）	864		（光熱水費）	854		（光熱水費）	978
	（一般需用費）	232		（一般需用費）	232		（一般需用費）	255
役務費	清掃・草刈等	3,878	役務費	清掃・草刈等	4,842	役務費	清掃・草刈等	6,647
委託料	汚泥処理等	1,291	委託料	汚泥処理等	1,424	委託料	汚泥処理等	2,479
使用料及び賃借料		625	使用料及び賃借料		624	使用料及び賃借料		625
工事請負費	維持補修	3,234	工事請負費	維持補修	1,767	工事請負費	維持補修	4,321
原材料費		231	原材料費	原材料費	255	原材料費		255

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	区民広場の平均清掃回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		78	R7	目標	78	78	78	78
				実績	66	66	57	57
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	78	78	78	78	78	78
		実績	57	57	69	69		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により平均週1.5回清掃(落ち葉シーズンの清掃を含む)することを目標値とした。 また、このほか愛護活動等による清掃活動も行われている。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	41.5	—	44	—
				実績	41.5	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	—	48	—	50	50
		実績	46.7	—	50.8	—		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民広場の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園と同様に都市での貴重な遊び場や憩いの場であり、継続した維持管理が必要である。

課題・問題点
区民広場については、多種多様な目的で使用されることが増えてきており、公園と同様に適切に維持管理していく必要がある。 また、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を更に増やし清掃等を充実させるとともに、維持管理コストの低減も図っていく。